

## メールツールの基本操作

### 【お知らせ】

メールツールでバックアップしたメールデータを電話機へ転送することはできません。  
メールツールは、電話機のメールデータをパソコンへ保存するツールです。

### 京セラ PHS ユーティリティソフトをご利用になる前に

- 1 USB ドライバと京セラ PHS ユーティリティソフトのインストールが必要になります。  
※インストール方法については電話機に付属している AIR-EDGE & プロバイダ簡単設定マニュアルの冊子または弊社ホームページをご確認ください
- 2 ご利用のパソコンによっては画面イメージが異なる場合があります。※操作方法は同じです。
- 3 京セラ PHS ユーティリティソフトウェアに付属している取扱説明書は、インストール後次の操作でご確認いただけます。

#### 《ソフトウェア付属取扱説明書の参照方法》

[スタート]⇒[すべてのプログラム]⇒[京セラ PHS ユーティリティソフトウェア]⇒[取扱い説明書]

- 4 京セラ PHS ユーティリティソフトウェアは京セラ製 PHS 端末専用のアプリケーションソフトです。他の電話機ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 5 京セラ PHS ユーティリティソフトウェアは、パソコンと京セラ製 PHS 端末(以下電話機とします)を USB ケーブルで接続して使用します。事前にパソコンに USB ケーブルの幅広コネクタを接続してください。

### メールのバックアップ

- 1 パソコンと接続した USB ケーブルに電話機を接続してください。  
※WX310K,WX330K をご利用の場合、電話機のメイン画面に「マストレージを利用しますか？」ポップアップが表示されますので、『いいえ』を選択して下さい。  
※WX310K,WX320K,WX320KR,HONEY BEE™,WX330K をご利用の場合、本体設定の「USBモード」が「モデム&ユーティリティ」になっている必要があります。  
初期設定は「モデム&ユーティリティ」になっています。  
USB モードは待ち受け画面から「メニュー」→[7]→[2]でご確認いただけます。

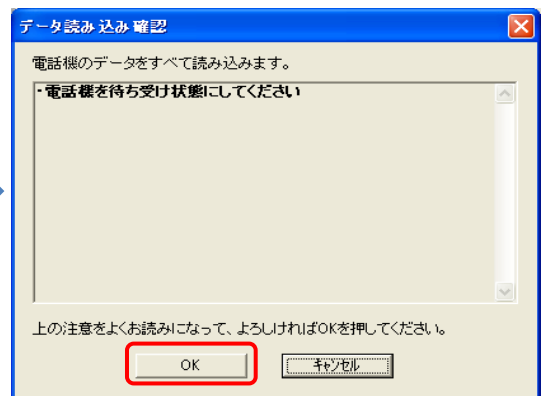
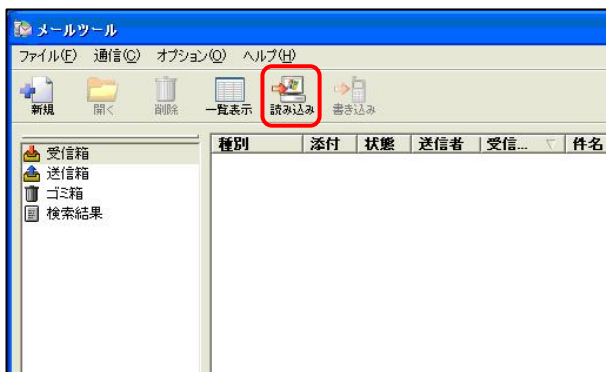
- 2 パソコンのデスクトップ上にある「京セラ PHS ユーティリティソフトウェア」のショートカットアイコンをダブルクリックし「京セラ PHS ユーティリティソフトウェア」を起動します。



- 3 ツールバーが表示されますので、赤枠で囲んである「メールツール」を選択します。



- 4 【読み込み】を選択します。



電話機が待ち受け状態になっている事を確認し【OK】を選択します。

### 《エラーが表示された場合は下記の内容をご確認ください。》

#### エラー #9

・待ち受け画面以外になっている可能性があります。電話機のメイン画面を確認して下さい。

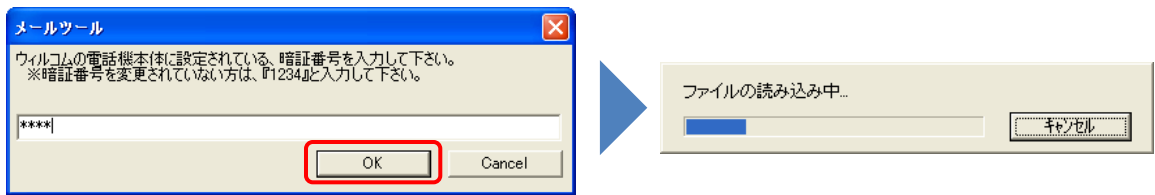
#### エラー #22002

- ・ドライバのインストールが正常に出来ていない可能性があります。付属 CD-ROM から【初めての方はこちら】を選択しドライバのインストールを行って下さい。
- ・USB モードは、モデム&ユーティリティになっていますか？ 待ち受け画面からメニュー→[7]→[2]で USB モードの設定をご確認ください。
- ・パソコンと電話機が直接接続されていますか？ USB ポートをご確認ください。
- ・パソコンの再起動及び、電話機の電源を OFF⇒ON してお試し下さい。

## 京セラ PHS ユーティリティソフト 基本操作ガイド

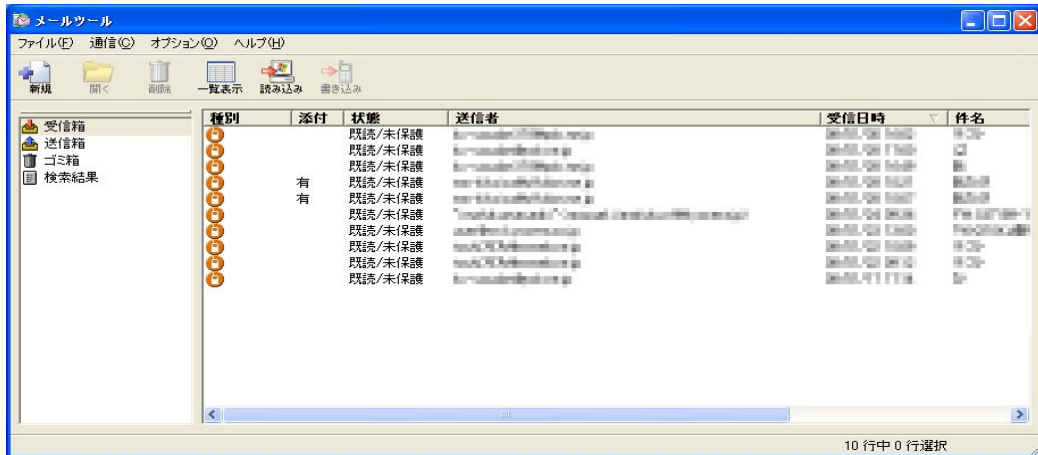
5 電話機の暗証番号を入力し【OK】を選択すると「ファイルの読み込み中」が表示されます。

※登録件数にもよりますが、数分かかる場合があります

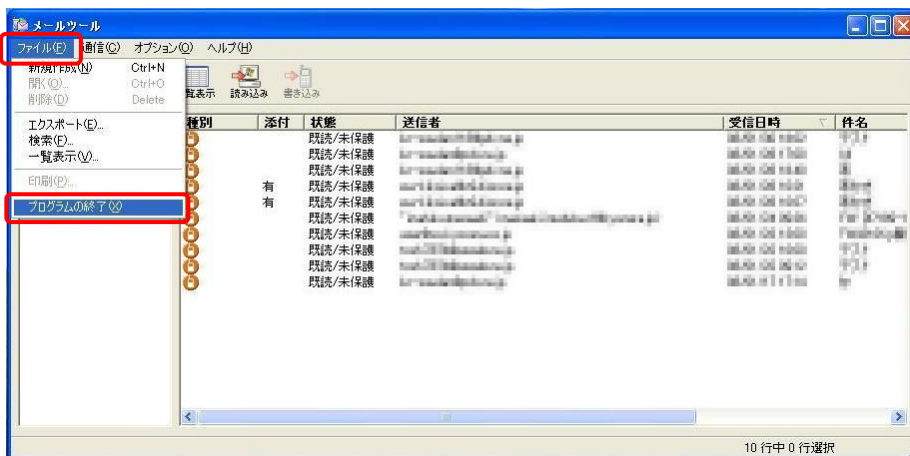


6 下記画面のみ表示されましたら読み込みは完了になります。

※表示されているメールは、[My Documents⇒DataLinkKcr⇒Mail]に自動で保存されます。次回メールツールを起動した際に、その内容が表示されます。



7 他に作業する必要がなければ、「ファイル」⇒「プログラムの終了」の順に選択しメールツールを終了します。



8 電話機からUSBケーブルを外して下さい。

9 プログラム終了を選択し、完了となります。

